



国東オリーブの「今」をお伝えします！

# 第5号 くにさきオリーブだより



9/1すてき！だいすき！くにさき！  
オリーブセミナーを開催しました



Joota認定※オリーブオイルテイスター青木絵麻先生を講師に迎え、「知って楽しむオリーブオイル」～健康効果から美味しい使い方まで～をご講演いただきました。

オリーブオイルの基礎情報～健康効果まで幅広く講演いただいた後、青木先生考案の国東オリーブオイルを使った美味しいお料理の試食会＆オリーブオイルテイスティング体験会を行いました。

その他、オリーブオイルが出来る工程やオリーブ栽培魅力情報のお伝え等、大変盛りだくさんの内容をお届けすることができました。

定員30名のセミナーでしたが、それを上回るお申込みをいただき、  
**「また開催してほしい！」「販売会も行ってほしかった！」**  
など、大変有難いお声を多数いただきました。

＼ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました！／

# 台風シーズン到来!?



10月になるといよいよ収穫が始まりますが、台風、病害虫の被害を受ける事も多く、管理には気を付けましょう!!



## 台風の被害

主な被害は強風による被害です。落果、傷の発生、倒木、塩害と甚大な被害を受けることがあります。昨年は台風19号により、国東市内で収穫直前の樹が1000本倒れてしまいました。



## 対策①支柱をしっかりと設置する

樹が大きくなると、より丈夫な支柱が必要になります。園地ごとに風の通り道が違うので、最も弱い方向から守れるように設置を行いましょう。

組み方の推奨は右記の鳥居型支柱に、横方向が弱点となるので、斜めに1~2本の支柱の設置する方法です。





## 対策②被害を受けにくい 樹形づくりを行う（冬の剪定時）



枝葉の量が多く、倒木した樹

枝葉の量が多く、樹高が高いと、風の影響を大きく受けて、倒伏しやすくなります。冬の剪定時から、強風を意識した枝作りが大切です。本来は剪定する時期ではないですが、夏季に徒長枝を切る方法もあります。



## 対策③台風前に殺菌剤防除を行う

クプロシールドやICボルドーによる薬剤により病気の予防を行います。どちらの薬剤も300ミリ程度の降雨まで予防効果があると考えられています。

薬剤名	倍率	使用方法
クプロシールド	500~1,000	全体散布
ICボルドー	50	全体散布



## 夏の防除講習会を開催しました！（7/31・8/1）／



# 台風通過後の対応

## ▶ 復旧作業① 倒木の復旧



枝葉を落とした樹

オリーブは、倒れた樹の9割は枯れずに再生可能です。元に戻す復旧作業は迅速に行いましょう。

起こす時はゆっくり徐々に引き上げて、引っかかるところまで戻しましょう。

幼木ならば人力。植え付け6年程度までなら軽トラック等に紐で結び付けて引っ張って戻せます。

大きく根が破損されている場合は、失った根の量に合わせて枝葉を落とすと、枯れる確率が更に低くなります。

## ▶ 復旧作業② 殺菌剤の防除

多数の雨により、薬剤の効果が切れてしまっている場合や、海に近い所は潮が混ざった風により塩害を受けそうな時は、防除を行いましょう。クプロシールドやICボルドーを使用して下さい。



台風の塩害を受けた樹  
(葉の先端が褐色する)

# 収穫シーズン

- 収穫は一部の品種が9月下旬から塩水漬け用に出荷されますが、国東は収穫量の95%以上がオイル用となります。
- 塩水漬けは人気がある商品で収穫時期が分散される利点がありますが、管理や収穫にも手間が掛かります。



## オイル用の収穫

オイル用は10月中旬から11月上旬まではすべての果実でオイル用の収穫が行われます。搾油機の機械の能力上、1度に果実が100kg以上（1日平均300～500kg処理）ないと搾れないので、出荷日は予め決まっております、年10回程度です。

1. 炭疽病以外は全量出荷可能
2. 樹全体の5割以上熟れて色づいている物を収穫する。  
搾油率を高めるためになるべく遅めの収穫を心掛ける。
3. 炭疽病の選別作業を行う

## 出荷について

1キログラムから出荷できます。

**出荷日が決められていますので、初めて収穫を行う方は**  
JAおおいた東部エリア園芸課（TEL0978-72-0617）まで  
お問合せ下さい。



# 秋肥

収穫時期と重なりますが、施肥を行いましょう。

施肥時期	10月下旬。肥料は効かせたい時期が決まっているので、散布時期を守る。散布が遅くなると、気温が低くなり肥料の効きが遅くなるので注意する。
資材名	S280（窒素12：リン8：カリ10）その他微量元素入り
施肥量	植え付け1～3年 1本辺り0.15kg 植え付け4～9年 1本辺り0.6kg 植え付け10年以上 1本辺り0.9kg
散布方法	枝の外縁に沿って散布する。 生育中の根の先端が枝の外縁と同じ程度の位置。
効果	着果によって失った養分の補給。 来年の花の準備。



## オリーブアナアキゾウムシの防除

近年ゾウムシの活動期間が長くなり、12月まで生育を確認する事例が相次いでいます。スミチオン乳剤を使用し、防除を行いましょう。既に3回使用している人は他の薬剤を使用して下さい。目安は収穫の終わる11月中旬です。

**収穫のない人でも防除してください。**

薬剤名	倍率	使用方法	年間使用回数	期間
スミチオン乳剤	50	樹幹散布	3回	11月中旬
ダントツ水和剤	2,000	散布	2回	
アディオン水和剤			2回	

